

講義名	専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	中川 典子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

### 主題と概要

1年生での基礎的な字権を受けて、2年生前期では大学の専門的な字権に向けての基礎を築くための演習を行います。この専門基礎演習は、心理社会学科教員が担当します。心理学関連領域や社会学関連領域のなかで具体的なテーマを設定し、それについて調べ(文献を読み、情報を集める)、議論をし、発表し、レポートを作成する方法を学びます。これらの方法は、大学における専門的な字権を進めるうえで必要なものです。従って、必ず履修していただきたい科目となります。

演習で扱うテーマは演習担当者によって異なりますが、どの演習クラスに所属しても「テーマについて調べ、議論し、発表し、レポートを作成する」力を身につける点で共通しています。演習の内容は、授業計画を参考にしてください。また、内容の詳細については、毎回授業時に担当者から説明がありますので、よく理解したうえで受講をしてください。

### 到達目標

- ・自演習のテーマにもとづいて、グループワーク、ディスカッションなどの協働作業を行うことができる。
- ・文献調査、情報収集、調査、レポート作成、発表(プレゼンテーション)などの学習方法を身に付けることができる。
- ・自分の志望に応じて、研究演習の選択を適切に行うことができる。
- ・自己の将来について考えることができる。

### 提出課題

授業後に「学びと気づきの振り返りシート」を執筆し、期限までに提出する。経過の授業の準備としてその他の課題を提出する。課題の配布と提出はすべてキャンパスクロスを通じて行う。

### 課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

毎週、課題の提出がある。課題の1つとして、授業内活動の振り返りを目的とした「学びと気づきの振り返りシート」を執筆し、期限までに提出する。その他の経過の授業のための準備用課題については、キャンパスクロスを通じて掲示するので、期限までに提出すること。期間厳守。

### 評価の基準

- (1) 課題(50%) \*内容および執筆量を基準に評価
- (2) 個人発表(25%)
- (3) 最終レポート(25%)

コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行い、60点以上が合格となる。一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。

### 履修にあたっての注意・助言他

- (1) 前掲のように、コースの評価は上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも取り組まなかった項目がある場合は不合格となる。
- (2) 15分以上の遅刻は欠席となる。コースの3分の1にあたる5回以上の授業を欠席すると定期試験の受験資格を失単位を取付できなくなる。3回の遅刻で欠席1回となる。
- (3) 課題はA5形式で提出すること。スキャンからの写真やテキストでの提出物は受理しない。
- (4) 授業中の態度が著しく悪い、グループワークに真摯な態度で参加しないなどの態度が見られた場合は大幅な減点となり落第する可能性があるため留意すること。
- (5) 提出課題を含むすべての連絡事項はMyAka Portalのキャンパスクロスを通じて行うので、必ず確認すること。
- (6) 5月12日(火)と5月19日(火)は、「図書館演習」の時間に字科全体で「研究演習」のガイダンスを実施する。
- (7) 6月2日(火)に予定している「図書館活用ガイダンス」は日程が変更になることがある。

\*その他、授業に関する詳細については第1回目の講義資料で説明するので、必ず出席すること。

### 教科書

.使用しない。

### 参考図書

### その他

- ・履修中は新聞の特に社会面や国際面に目を通す習慣をつけること。

### 授業計画

- 第1回(4月14日)「コースガイダンス」履修に関する重要事項の説明とミニ講義。  
 予習: 次の回の第1回個人プレゼンテーション(自己紹介)についてパワーポイントスライドを作成し、提出する。「自分の対人関係パターン」課題の提出、第2回のキーワードを事前に調べておくこと。(120分)  
 復習: 授業資料を確認し授業の準備方、およびダイバーシティ・コミュニケーションと心理学との関係について理解を深める。(120分)  
 第2回(4月21日)「マナーのツツ(新聞記事)」。第1回個人プレゼンテーション発表。自身の自己表現パターンを軸に、さわやかな印象を与える自己表現。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第3回のキーワードを事前に調べておく。(90分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(90分)  
 第3回(4月28日)「マナーのツツ(新聞記事)」。さわやかな印象を与える自己表現(前回の続き)・ケースディ・グループディスカッション。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第6回のキーワードを事前に調べておく。(90分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(90分)  
 第4回(5月5日)「心理社会学科研究演習会ガイダンス」  
 予習: 心理社会学科教員の担当している研究演習の説明(シラバスや大学HP)を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておく(120分)  
 復習: ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べる(120分)  
 第5回(5月12日)「心理社会学科教員の担当している研究演習」の説明(シラバスや大学HP)を見て不明な点について書き留めておき、ガイダンス時に質問できるようにしておく(120分)  
 復習: ガイダンスを聞き、興味を持った演習の内容について調べる(120分)  
 第6回(5月19日)「マナーのツツ(新聞記事)」。アサーションと社会的スキル。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。一般的な図書館活用法について事前に調べておく。(90分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(90分)  
 第7回(5月26日)「図書館活用ガイダンス(予定)」  
 予習: 第8回のキーワードを事前に調べておく。第8回のキーワードを事前に調べておく。(90分)  
 復習: 図書館活用ガイダンスで学習した内容を復習する。(60分)自身が興味のある社会テーマについて図書館を使って調べる。(90分)  
 第8回(6月2日)「マナーのツツ(新聞記事)」。アサーションと社会的スキル。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第9回のキーワードを事前に調べておく。(90分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(90分)  
 第9回(6月9日)「マナーのツツ(新聞記事)」。アサーションと社会的スキル。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第10回のキーワードを事前に調べておく。(90分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(90分)  
 第10回(6月16日)「マナーのツツ(新聞記事)」。問題解決のための3S法。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第11回のキーワードを事前に調べておく。(90分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(90分)  
 第11回(6月23日)「マナーのツツ(新聞記事)」。寛容性とは、多様な視点に立ち、自分事として考える。第12回個人発表に関するガイダンス。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第12回のキーワードを事前に調べておく。第2回個人発表資料を期限までに提出する。(120分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(60分)  
 第12回(7月7日)「マナーのツツ(新聞記事)」。リーダーシップとコミュニケーション。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第13回のキーワードを事前に調べておく。第3回個人発表資料を期限までに作成・提出する。(120分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(60分)  
 第13回(7月14日)「マナーのツツ(新聞記事)」。寛容性とは、多様な視点に立ち、自分事として考える。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第14回のキーワードを事前に調べておく。第4回個人発表の口頭練習をする。(120分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(60分)  
 第14回(7月21日)「第2回個人発表(1)」。〇〇とは誰のことを指すのか。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。課題のワークシートを提出する。第15回のキーワードを事前に調べておく。第5回個人発表の口頭練習をする。(120分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを執筆し、提出する。(60分)  
 第15回(7月28日)「第2回個人発表(2)」。差別とその感情を考える。  
 予習: 授業の振り返りシートを執筆し、提出する。(60分)  
 復習: 授業資料に基づき、学習内容を復習する(60分)・授業で学習した内容が、自身の日常生活と体験にどのように関わっているのかを考え、振り返りシートを提出する。(120分)

### 授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア: PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ: グループワーク
<input type="radio"/> オ: プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会貢献、居学連携、インターナショナルなどで現業社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を築くための新しい考え、文化を創出することができる。人間の精神健康と心理学の研究法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。コミュニケーション能力と、消費者に援助を求める人の心理と行動の知識を有し、ビジネス場面で援助場面中心理学を応用することができる。

### 双方授業の実施及びICTの活用に関する記述

提出された前回の授業に関する「振り返りシート」の場付かを教員が紹介し、コメントする。授業内容、その他に関する質問は授業中および随時、振り返りシートを通じて受け付け、授業中またはキャンパスクロスを通じて回答する。また、ディスカッションやグループワークを活用しながら、学生間のインタラクションに留意した授業を展開する。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考

このコースは一方的な講義のクラスではないため、真摯、かつ、積極的に授業内活動に参加することが求められる。第1回目の授業で履修に関する重要な説明をするので、必ず出席すること。授業に関する連絡はすべてキャンパスクロスを通じて行う。